

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ジョブアカデミー桜川		
○保護者評価実施期間	2026年 1月 5日		2026年 1月 30日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	28名	(回答者数) 26名
○従業者評価実施期間	2026年 1月 26日		2026年 1月 30日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6名	(回答者数) 6名
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 2月 24日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	青森市内唯一の就労準備型という特徴を生かし、学校卒業後を見据えた挨拶や礼儀、マナーの基礎が定着するよう支援をしている	<ul style="list-style-type: none"> 「おはようございます」「お先に失礼します」等、就労を意識した挨拶 個別課題の確認、終了の報告をする プログラムにビジネスマナー(お茶の出し方や欠席の連絡の仕方等)を取り入れている 	<ul style="list-style-type: none"> 外出の機会を設け、様々な場所のマナーやルールを学ぶ場を作り社会性を高める 移行支援やA型・B型事業所へ見学に行き、終了への意識を高める
2	5領域を網羅しながらもPCを使用する内容を多く取り入れた活動プログラムを作成しており、内容が多岐にわたっている	<ul style="list-style-type: none"> 領域ごとのねらいを明確にした支援の実施 PCではタイピング力の向上を目指し、定期的に実力をはかっている 季節の行事や外出学習の実施 	<ul style="list-style-type: none"> 公共交通機関を利用する機会を設け、自力で通所することができるよう支援する場を作る 余暇力を向上させるため、自己理解を深めたり自由時間の過ごし方を選択させたりする
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・基本情報や行動、心理面、コミュニケーション等のアセスメントは取っているが、事業所の強みを生かしたアセスメントが標準化されていない	・作業への取り組み方、求める作業量等個人によって求めるものが異なるため、標準化しづらかった	・事業所の強みを生かしたアセスメントを現在作成中
2	・各種マニュアルを策定しているが、保護者への周知が十分にできていない	・保護者に対しての発信をしていなかった	・発生を想定した避難訓練を実施しているので、マニュアルに沿った対応であることを伝えていく
3			

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		ジオブアカデミー桜川				公表日	2026年 2月 27日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		・活動内容によっては机を寄せて、作業スペースを広くしている		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	○		・基準以上の人数配置をしており、安全に配慮したり緊急時の対応をスムーズに行ったりすることができるようにしている		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		・利用者が使用するスペースに無駄なものを置いたり掲示したりせず、集中しやすくしている ・仕切り机を導入し、利用者の特性への対応が広がった	・玄関に段差はあるものの、スロープを必要とする児童はいない	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		・毎日掃除をし、清潔を保っている ・空気清浄機、加湿器を設置し、温度や湿度の管理を心掛けている ・活動に合わせて机の配置を変えたり机を寄せたりし、広い空間の確保が可能		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		・静養室や相談室をいつでも使用してよいことを周知している		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	○		・年1回振り返りの場を設け、全職員でチェックリストの評価をしている	・改善点については気づいた時にそれぞれ対応しており、明確な目標設定をしていない	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		・評価表記入の期間を長めにとり、回収率を高めている	・ご意見が少ないため、記載していただけるよう何かしらの工夫が必要と思われる	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		・朝礼や会議等で意見を出し合う場を設けている		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○		・外部評価を行っていない	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		・年間の全体研修計画、個人研修計画をもとに実施されている		
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		・プログラム内容は多岐にわたる内容を考え、職員で話し合いながら決めている ・利用者に配布するだけでなく、HP上で毎月公表している		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。		○	・利用計画や利用時の様子から特性や得意・不得意を探り、個別支援計画を作成している	・初回アセスメントは独自のものを使用しているが、2回目以降のアセスメントについては現在見直し中	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		・担当が月ごとに変更する利点を生かし、複数の職員で話し合いをしながら個別支援計画を作成している	・ご本人の意向を伺う場を設けているが、意見をうまく伝えられないことがあるため、場の設定に工夫が必要と思われる	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		・月末や月初に引継ぎをし、支援目標や手立てを共有している		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。		○		・日常の行動観察は記録しているが、2回目以降のアセスメントが標準化されていないため、現在見直し中	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		・ライフステージが上がることを見越した個別支援、移行支援の項目を設定し、個人に必要な支援内容を設定している		

適切な支援の提供	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		<ul style="list-style-type: none"> ・偏りのないよう役割分担しながら行っている ・プログラム内容は多岐にわたる内容を考え、全職員で話し合いながら決めている 	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		<ul style="list-style-type: none"> ・5領域を意識しながら利用者が楽しめる活動を組み込む工夫をしている ・同じ内容が続かないよう、週単位、月単位で変更している 	・同じ活動が繰り返されていることがある
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○		<ul style="list-style-type: none"> ・個別支援計画に沿って、個別で行う支援と集団の場で行う支援、どちらも行っている 	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		<ul style="list-style-type: none"> ・集団支援がメインであるため、支援のねらいを明確にし、必要な役割分担を確認した上で行っている 	・集団で行うがために、利用者の来所時刻や出勤時刻によっては必ず実施にならないことがあるため、teamsで共有している
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		<ul style="list-style-type: none"> ・支援の様子で気づいたことや気になったことは翌日の朝礼で確認している 	・職員の退勤時刻が異なるため、必ず実施にはならないが、必要に応じてteamsで共有している
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		<ul style="list-style-type: none"> ・集団支援のねらいに対しての評価、支援目標についての様子を記録することを徹底している 	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		<ul style="list-style-type: none"> ・日頃の様子をお伝えし、モニタリングでお伺いしたことをもとに要望を整理し、個別支援計画の見直しを行っている 	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか。	○		<ul style="list-style-type: none"> ・中高生が対象であるため、生活スキルの獲得、就労準備、自己理解等を中心に取り組み支援を行っている 	・地域交流の機会の提供については、希望されない保護者もいるため、ボランティアや地域住民との交流等は積極的に行っていない
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定する力を育てるための支援を行っているか。		○		<ul style="list-style-type: none"> ・就労準備型の放デイであるため、活動に取り組むことや指示に沿った行動が前提であり、自己決定する場は少ない
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		<ul style="list-style-type: none"> ・基本的に児発管が出席しているが、事前に利用者の状況について他の職員から情報を得ている 	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。		○		<ul style="list-style-type: none"> ・学校や保護者を通して情報共有はしているが、連携して支援しているとはいえない
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○		<ul style="list-style-type: none"> ・基本的に学校の情報は保護者から得ている 	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定子ども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。		○		<ul style="list-style-type: none"> ・中高生が対象であるため、該当しない
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	○		<ul style="list-style-type: none"> ・養護学校では関係機関が集まり移行支援会議を行っている 	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。		○		<ul style="list-style-type: none"> ・中高生が対象であるため、該当しない
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。		○		<ul style="list-style-type: none"> ・希望されない保護者もいるため、機会を設けていない
	33	(自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか。		○		
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		<ul style="list-style-type: none"> ・事業所での様子を連絡帳でお知らせすることはもちろん、家庭での様子をお知らせして下さるご家庭もあり、共通理解につながっている 	
35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。		○		<ul style="list-style-type: none"> ・希望されない保護者もいるため、機会を設けていない 	
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		<ul style="list-style-type: none"> ・契約時に説明をしている 	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		<ul style="list-style-type: none"> ・保護者の要望を伺いながら事業所のできることをお伝えし、利用者には、どのような目標で何を頑張るかを伝えている 	・利用者の意向を十分にくみ取る工夫が必要

保護者への説明等	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○		・モニタリングでは個別支援計画を提示しながら現状をお伝えしている	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。		○		・希望していない保護者がいるため、設けていない
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。		○		・希望しない保護者がいるため全体に保護者会の開催や交流の機会を設けることはしていない
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		・苦情や相談の窓口があることをお伝えしている ・連絡帳やライン等のご意見に対し、職員間で共有した上で迅速に対応するようにしている	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		・支援の様子や行事の様子等を写真に撮り、ラインやSNSでお伝えしている	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		・SNS投稿に関する承諾書を全家庭から頂いており、投稿する前に、再確認している	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		・意思疎通が難しい保護者、利用者はいないが困りごとを話しやすい雰囲気をつくっている	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		○		・希望されない保護者もいるため、地域と連携する機会を設けていない
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		・事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等すべて策定している	・発生を想定した避難訓練を実施しているので、マニュアルに沿った対応であることを伝えていく
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		・地震や水害等の自然災害、火事の発生に備えた避難訓練を行っている	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		・契約時、服薬、通院頻度等を確認している ・てんかん発作への対応マニュアルを作成している	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。		○	・アレルギーをおもちの利用者はいないが、おやつや軽食提供時は保護者に確認している	・アレルギーをおもちの利用者はいないため該当しない
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		・安全計画を策定し、計画に沿って進めている	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		・地震や水害等の自然災害、火事の発生に備えた避難訓練を行っている	・発生を想定した避難訓練を実施しているので、マニュアルに沿った対応であることを伝えていく
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		・ヒヤリハット発生時のほか、半年に1回内容を見返し、再発防止に努めている	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		・年間計画のもと研修を実施し、虐待につながる案件がないか検討、支援の見直しをしている	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○		・契約時、説明をしている		